

学術サミット グループワーク 血管撮影分野

- 川原 浩 (鹿児島大学) 
中田 充 (東北大学) 
小林 寛 (山梨大学) 
東 丈雄 (大阪大学) 
岡 哲也 (新潟大学) 

学術サミットグループワーク 命題

1. 国立大学病院としての臨床研究とは何か
研究のseedをどのように見つけるか
2. 学会活動と別に行う意義は何か
国立大学として求められるレベルはどのあたりか
3. 現在すべき研究は何か
各分野の国際的最近動向を踏まえて

学術サミットグループワーク 命題

1. 国立大学病院としての臨床研究とは何か
研究のseedをどのように見つけるか
2. 学会活動と別に行う意義は何か
国立大学として求められるレベルはどのあたりか
3. 現在すべき研究は何か
各分野の国際的最近動向を踏まえて

国立大学病院の位置付け

- 高度な医療の提供・開発
- 研修の実践にあたる中核的医療機関
- 先進医療や地域医療の拠点
- 恵まれた環境 (最新の装置、デバイス)

国立大学病院の責務

臨床研究で得られた知見

学会や研究会等の発表で広く普及

- 国民の健康維持
- 患者の治療

- ◆ 患者の負担軽減・QOL
- ◆ 診断治療法の革新
- ◆ 医療産業ビジネス

国立大学病院としての 臨床研究とは何か

- 業務で困っている点の改善
- 最新の手技、デバイスによる新たな課題
- 他モダリティの活用
- 大学内の専門性の高い研究者とのタイアップ

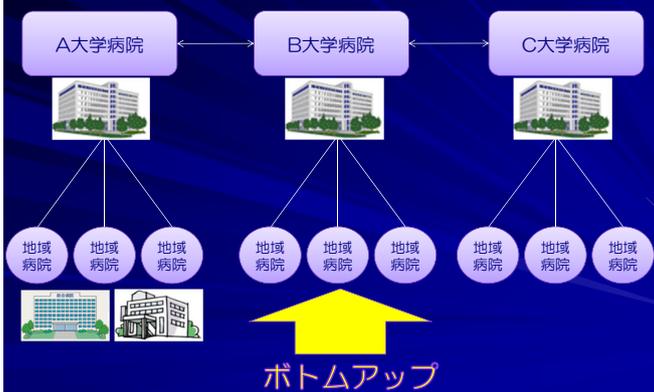
学術サミットグループワーク 命題

1. 国立大学病院としての臨床研究とは何か
研究のseedをどのように見つけるか
2. 学会活動と別に行う意義は何か
国立大学として求められるレベルはどのあたりか
3. 現在すべき研究は何か
各分野の国際的最新動向を踏まえて

学会活動と別に行う意義

- 国立大学病院間での情報共有
⇒装置選定、運用の諸問題解決、研修
- 地域医療へのフィードバック
⇒地域病院での諸問題の解決法の探求
- ボトムアップによる医療技術の発展への貢献
⇒治療に役立つ支援画像ソフト・機器装置の開発検証
- 医療安全の取組みや人材育成
⇒多職種との連携、知識研鑽・教育研修

情報共有の理想



学術サミットグループワーク 命題

1. 国立大学病院としての臨床研究とは何か
研究のseedをどのように見つけるか
2. 学会活動と別に行う意義は何か
国立大学として求められるレベルはどのあたりか
3. 現在すべき研究は何か
各分野の国際的最新動向を踏まえて

現在すべき研究

- 動画画像に関する評価法の確立
- 画質評価を含めた被ばく管理
- IVRナビゲーション
- 3D-Perfusion
- Angio画像と流体解析とのマッチング
- 流体力学とのコラボレーション

→ 線量の最適化/支援ソフトの有用性・検証

現在すべき事

- ICRPに準じた多職種への教育訓練 (pub.113)
- 臨床実習指導者の育成
- 関連専門放射線技師資格取得や更新の支援
- 講習ならびにシミュレータ等用いたトレーニング
- 放射線関連機器の安全管理や品質管理

→ 多職種への放射線教育・知識の研鑽・診療支援

その他

- 科研費、奨励研究費、外部資金の資金獲得
- 国際学会参加・発表費用の支援
- 放射線管理を保険点数に結び付ける取組み

まとめ

1. 国立大学病院としての臨床研究とは何か
 - ⇒業務で困っている点の改善
 - ⇒最新の手技、デバイスによる新たな課題
 - ⇒他モダリティの活用
 - ⇒恵まれた環境（最新の装置、デバイス）
2. 学会活動と別に行う意義は何か
 - ⇒国立大学病院間での情報共有
 - ⇒地域医療へのフィードバック
 - ⇒ボトムアップによる医療技術の発展への貢献
 - ⇒医療安全の取組みや人材育成
3. 現在すべき研究は何か
 - ⇒線量の最適化/支援ソフトの有用性・検証
 - ⇒多職種への放射線教育・知識の研鑽・診療支援